



2025年度

博士課程後期3年の課程学生募集要項

【一般選抜，社会人特別選考，外国人留学生特別選考】

(2025年10月進学・編入学)

出願期間	2025年7月7日(月)午前10時～7月11日(金)午後5時 ※2
合格者発表	2025年9月5日(金)午前9時(予定)
入学手続	2025年9月中旬
入学年月日	2025年10月1日

※1 (該当者のみ) 事前審査申請書類受付締切：2025年6月18日(水)

※2 本入試の出願は、インターネット出願により行います。インターネット出願の方法等については、後日、東北大学理学部・理学研究科ウェブサイトに掲載します。

<https://www.sci.tohoku.ac.jp/juken/graduate-admission.html>

本研究科博士課程前期2年の課程を2025年9月に修了見込みの者で、同一専攻へ進学するものに対する進学者選抜は、この要項によらず別途行います。出願方法等は、別途お知らせします。

2025年5月

東北大学大学院理学研究科

《アドミッション・ポリシー》

理学は、自然界にひそむ原理や法則性を解明し、真理を探究する学問であり、人類の根源的な自然への疑問に対する飽くなき知的好奇心を原動力として形成されてきました。また、理学は現代社会を支える科学技術や人文・社会科学など様々な分野の基盤となっており、人間の生活に密接に関わっています。

東北大学大学院理学研究科は、先端的な研究成果に基づいた高度な専門的教育によって、人間性と倫理性を備えた、理学の各分野で世界をリードする研究者や理学的素養を活かして多方面で活躍する職業人を育成することを目指します。

本研究科が入学者に求める人間像は、次のとおりです。

- ・ 理学の研究に必要な基礎学力を有し、本学における勉学に強い意欲を持っている人
- ・ 人類の知的財産を継承し、自由な発想と独創性をもって自然の真理の探求に取り組み、次世代の自然科学と科学技術の進展に寄与したいという志を持っている人
- ・ 人間性と倫理性を備え、科学的思考能力を基礎に人類の文化と社会の発展に貢献する研究者・高度職業人となる意志を持っている人

学生の受け入れにあたっては、6つの専攻ごとに一般選抜、外国人留学生等特別選考、自己推薦入学試験（博士課程前期2年の課程）及び社会人特別選考（博士課程後期3年の課程）を実施し、本研究科の教育理念・目標に沿った研究を行うために必要な高い能力と資質を備えているか否かを重視して選抜を行います。

（博士課程後期3年の課程）

一般選抜では、専門分野にかかる基礎学力、研究論文等の内容及び研究計画と研究意欲等を評価し、特に研究意欲を重視して選抜を行います。

社会人特別選考では、専門分野にかかる基礎学力、研究論文等の内容、研究計画と研究意欲等を評価する面接試験を行い、特に研究論文等の内容と研究意欲を重視して選抜を行います。

外国人留学生特別選考では、専門分野にかかる基礎学力、研究論文等の内容、英語技能、研究計画と研究意欲を評価する面接試験を行い、特に研究論文等の内容と研究意欲を重視して選抜を行います。

なお、入学前に、主体的に研究を行うために必要な研究経験や基礎学力を身につけておくことを希望します。

目 次

学 生 募 集 要 項

1	募集専攻及び募集人員	1 頁
2	出願資格	1 頁
3	事前審査	4 頁
4	配慮を必要とする入学志願者等の事前相談	5 頁
5	出願手続	5 頁
6	選考方法等	7 頁
7	合格者の発表	8 頁
8	入学手続	8 頁
9	その他	9 頁

1 募集専攻及び募集人員

専攻名	講座・分野等名	募集人員
数 学	代数学 幾何学 解析学 多様体論 応用数理 相関数理解析	若干名
物 理 学	量子基礎物理学 素粒子・核物理学 電子物理学 量子物性物理学 固体統計物理学 相関物理学 領域横断物理学 高エネルギー物理学 原子核理学 核放射線物理学 結晶物理学 金属物理学 分光物理学 加速器科学 強相関電子物理学 量子機能計測	
天 文 学	天文学 理論天体物理学 スペース宇宙科学	
地球物理学	地震・火山学 沈み込み帯物理学 気象学・大気力学 海洋物理学 物質循環学 気候物理学 衛星海洋学 宇宙地球電磁気学 惑星大気物理学 惑星圏物理学	
化 学	無機・分析化学 有機化学 物理化学 境界領域化学 先端理化学 化学反応解析 固体化学 生体機能化学	
地 学	地圏進化学 地圏物質循環学 環境地理学 環境動態論 地球惑星物質科学 比較固体惑星学 地球内部反応 自然史科学 地殻化学 自然災害学	

2 出願資格

一般選抜

次の各号のいずれかに該当する方が出願できます。出願にあたっては、必ず、事前に志願者が受入先として希望する教員（以下、「受入志望教員」という。）の内諾を得たうえで、注1又は注2の手続を行ってください。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2025年9月までに取得見込みの者
- (2) 外国の大学の大学院において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2025年9月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2025年9月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2025年9月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2025年9月までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、外国の大学院の課程を有する教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び2025年9月までに認められる見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
 - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められたもの
 - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修

了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められたもの

(8) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2025年9月末日までに24歳に達するもの

(注1) 出願資格(1)～(6)により出願する方は、事前に受入志望教員の内諾を得たうえで、修士論文内容要旨(A4判2枚、2,000字程度)を、2025年6月18日(水)までに受入志望教員を通して志望専攻の専攻長に提出し(郵送可)、専攻長から出願の了解を得てください。

(注2) 出願資格(7)～(8)により出願する方は、事前に出願資格審査を行いますので、4頁の「3 事前審査」の手續に従い、申請書類を提出してください。また、事前に受入志望教員の内諾を得たうえで、受入志望教員を通して志望専攻の専攻長から出願の了解を得てください。

社会人特別選考

本研究科では、社会人研究者の再教育及び博士(理学)の学位取得希望者に門戸を開くため、社会人特別選考を実施しています。

次の各号のいずれかに該当する方が出願できます。出願にあたっては、必ず、事前に志願者が受入先として希望する教員(以下、「受入志望教員」という。)の内諾を得たうえで、注1又は注2の手續を行ってください。

- (1) 修士課程又は専門職学位課程を修了した者で、原則として、修士の学位又は専門職学位を取得後、研究機関等において2年以上研究に従事したもの
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者で、原則として、学位取得後、研究機関等において2年以上研究に従事したもの
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された後、原則として、研究機関等において2年以上研究に従事したもの
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された後、原則として、研究機関等において2年以上研究に従事したもの
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者で、原則として、学位取得後、研究機関等において2年以上研究に従事したもの
- (6) 外国の学校、外国の大学院の課程を有する教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、原則として、研究機関等において2年以上研究に従事したもの
- (7) 大学卒業後、原則として、研究機関等において4年以上研究に従事した者で、本大学院において修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められたもの
- (8) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2025年9月末日までに24歳に達するもの

(注1) 出願資格の(1)～(6)により出願する方は、事前に受入志望教員の内諾を得たうえで、2025年6月18日(水)までに、あらかじめ次の書類を用意し、受入志望教員を通して志望専攻の専攻長に問い合わせ、専攻長から出願の了解を得てください。

a 出願資格の(1)～(5)による出願の場合

- ① 修士論文の研究の要旨(A4判1枚1,000字程度)及び学術論文等の参考資料
- ② 修士の学位又は専門職学位取得後、従事した研究の要旨(A4判1枚1,000字程度)
- ③ 希望する研究分野及び研究計画の概要(A4判1枚1,000字程度)

b 出願資格の(6)による出願の場合

- ① 大学卒業後に行った研究の要旨(A4判2枚2,000字程度)及び学術論文等の参考資料
- ② 出身大学の発行した成績証明書
- ③ 希望する研究分野及び研究計画の概要(A4判1枚1,000字程度)

(注2) 出願資格の(7)又は(8)により出願する方は、事前に出願資格審査を行いますので、4頁の「3 事前審査」の手續に従い、申請書類を提出してください。また、事前に受入志望教員の内諾を得たうえで、受入志望教員を通して志望専攻の専攻長から出願の了解を得てください。

(注3) 民間企業等の在職者は、研究に支障がない限り在職のまま又は休職して入学することができます。

外国人留学生特別選考

外国人留学生については、原則として研究生として入学し一定の期間在学したうえで外国人留学生特別選考への出願を認めています。ただし、高い水準の学力を有すると判断されるものに限り、本邦に在留の有無にかかわらず直接外国人留学生特別選考への出願を認めます。

なお、外国人留学生とは、日本国籍を有しない者で、日本国の永住許可を得ていないものとします。

次の各号のいずれかに該当する方が出願できます。出願にあたっては、必ず、事前に志願者が受入先として希望する教員(以下、「受入志望教員」という。)の内諾を得たうえで、注1又は注2の手續を行ってください。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2025年9月までに取得見込みの者
- (2) 外国の大学の大学院において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2025年9月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2025年9月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2025年9月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2025年9月までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、外国の大学院の課程を有する教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び2025年9月までに認められる見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号)
 - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
 - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
- (8) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年9月末日までに24歳に達するもの

(注1) 出願資格(1)～(6)により出願する方は、事前に受入志望教員の内諾を得たうえで、2025年6月27日(金)までに受入志望教員を通して志望専攻の専攻長に申し出て、出願資格の確認を受け、専攻長から出願の了解を得てください。また、その指示により出願手續をしてください。

(注2) 出願資格(7)～(8)により出願する方は、出願資格審査を行いますので、4頁の「3 事前審査」の手續に従い、申請書類を提出してください。また、事前に受入志望教員の内諾を得たうえ

で、受入志望教員を通して志望専攻の専攻長から出願の了解を得てください。

3 事前審査

出願資格（7）～（8）により出願しようとする場合は、事前に審査が必要です。

次の（1）から（3）に従って手続をしてください。

なお、事前審査を行うにあたって、必ず、事前に受入志望教員の承諾を得たうえで、手続を行ってください。

（1）申請受付

- ① 事前審査申請書類受付締切は、2025年6月18日（水）です。
- ② 事前審査を申請する方は、事前に、Googleフォームに必要事項を入力してください。
(事前審査申請フォーム)



- ③ フォーム入力後、事前審査申請書を理学研究科ホームページからダウンロードし、作成・印刷の上、指定する書類を郵送により提出願います。

必ず速達簡易書留郵便とし、封筒の表に「博士課程後期事前審査申請書類在中」と朱書してください。2025年6月18日（水）までに到着したものに限り受け付けます。

ダウンロード用ページ <https://www.sci.tohoku.ac.jp/juken/application.html>

- ④ 申請書類に不備のあるものは受理しません。
- （2）審査結果は、2025年6月26日（木）までに、上記フォームで入力したメールアドレスあて通知します。
- （3）事前審査の結果、資格の認定を受けた方は、出願期間内に出願手続をしてください。また、審査結果は印刷の上、試験日に持参し、試験監督者や係員の指示により提示を求められた場合は、提示してください。

◆申請書類

◎一般選抜・外国人留学生特別選考の出願資格（7）～（8）に該当する方

申請書類	摘 要
個別事前審査申請書	所定用紙 ホームページからダウンロードしてください。
成績証明書	最終出身学校の長が作成したものを提出してください。 (厳封)
その他審査に参考となるもの	学術論文又はそれに相当するものを提出してください。

◎社会人特別選考の出願資格（7）～（8）に該当する方

申請書類	摘 要
個別事前審査申請書	所定用紙 ホームページからダウンロードしてください。
成績証明書	最終出身学校の長が作成したものを提出してください。 (厳封)
研究の要旨及び学術論文等の参考資料	研究の要旨については、A4判2枚、2,000字程度にまとめてください。
希望する研究分野及び研究計画の概要	A4判1枚、1,000字程度にまとめてください。

その他審査に参考となるもの

学術論文又はそれに相当するものを提出してください。

4 配慮を必要とする入学志願者等の事前相談

入学志願者で、既往症、疾病など受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、2025年6月26日（木）までに大学院教務係（9頁参照）に相談してください。なお、相談の内容によっては、試験日までに対応できず、措置が講じられないこともありますので、可能な限り速やかに相談してください。

本研究科の入学試験においては、既往症、疾病などの理由により、合否判定の際に不利に取り扱われることはありません。

5 出願手続

(1) 出願期間等

- ① 出願手続は、インターネット出願システムへの入力により行います。
<https://www.sci.tohoku.ac.jp/juken/graduate-admission.html>
- ② インターネット出願システムへの入力期間は、2025年7月7日（月）午前10時から7月11日（金）午後5時までとします。
この期間に出願完了のボタンを押し、出願を完了させてください。出願完了のボタンを押さないと、出願が完了したことになりません。
また、出願完了のボタンを押す前に上記入力期間が過ぎてしまうと、出願は受け付けられませんので、余裕を持って手続してください。
- ③ 出願書類等に不備のあるものは受理しません。
- ④ 地球物理学専攻志望者は、インターネット出願システムに入力の際、志望する領域と分野を
A領域・分野「地震・火山学，沈み込み帯物理学」
B領域・分野「気象学・大気力学，海洋物理学，物質循環学，気候物理学，衛星海洋学」
C領域・分野「宇宙地球電磁気学，惑星大気物理学，惑星圏物理学」
から選択してください。
- ⑤ 地学専攻志願者は、インターネット出願システムに入力の際、
(A) 分野「地圏進化学（地圏物質循環学）・自然史科学・環境動態論・自然災害学」
(B) 分野「環境地理学・環境動態論・自然災害学」
(C) 分野「地球惑星物質科学（地球内部反応）・地殻化学・自然史科学・比較固体惑星学」
のいずれかの分野を選択してください。
- ⑥ 出願書類等に虚偽の申告をした者については、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- ⑦ 出願後は、出願の取下げ及び出願書類等の記載事項の変更を認めません。また、出願書類等（修士論文を除く。）及び入学検定料は、返還しません。
- ⑧ 願書受付締切後、出願を受理した場合は、インターネット出願システムにより受験票を表示します。受験票の表示開始は登録したメールアドレス宛てにお知らせします。なお、受験にあたり必要な情報は登録したメールアドレス宛てにお送りしますので、出願時に確実に届くメールアドレスを正確に入力するとともに、出願後はメールをよく確認してください。
- ⑨ 受験票は、インターネット出願システムからダウンロードし、必ず印刷して、受験当日に持参してください。

(2) 出願書類等

出願書類等は以下のとおりです。アップロードする書類は、明瞭なものとしてください。

No.	出 願 書 類 等	摘 要
1	入学願書	インターネット出願システムに必要な事項を入力してください。

2	顔写真データ	<p>インターネット出願システム上でアップロードしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3か月以内に撮影した志願者本人が判別できるもので、正面上半身無帽のもの(サイズの比率は縦4:×横3)で無背景(背景や柄がないもの)とします。 ・使用できるデータは、png, jpg, jpeg形式のもので、データの上限は20MBとします。 ・試験当日、メガネをかけて受験する者は、メガネをかけた写真とします。
3	入学検定料	<p>下記①の方法により入金したのち、振込の控え(インターネットバンキング利用した場合は振込明細を印刷したものやスクリーンショット等)をPDFファイルにして、インターネット出願システムにアップロードしてください。</p> <p>アップロードするファイルは、「振込元の金融機関・支店」「振込元の口座番号」「振込依頼人」がわかるものとしてください。インターネットバンキングの機能制限により、上記情報が明確でない場合は、アップロードするファイルの余白に上記情報を記入してください。</p> <p>① 入学検定料は、ATM(金融機関、コンビニエンスストア)やインターネットバンキング等をご利用の上、下記により納入してください。</p> <p style="text-align: center;">金 額： 30,000円 納入期間： 7月1日(火)～7月11日(金)【期限厳守】 銀 行： 三菱UFJ銀行 銀行コード：0005 支 店： わかたけ支店 支店コード：809 預金種別： 普通 口座番号： 2259081 口座名義： 国立大学法人東北大学 カ ナ： コクリツダイガクホウジン トウホクダイガク</p> <p>※ 振込依頼人名は、受験者本人のカナ氏名を登録してください。 ※ 振込手数料については、受験者本人負担となります。</p> <p>② 2025年9月に本学大学院博士課程前期2年の課程、修士課程又は専門職学位課程を修了する見込みの方は納入不要です。</p> <p>また、国費外国人留学生及び2025年度に日本国内で発生した風水害等の災害により被災した出願者に対する特別措置である入学検定料の免除申請をする方は納入不要です。</p> <p>なお、風水害等の災害の被災者に対する入学検定料の免除については、次のウェブサイトをご参照ください。 https://www.sci.tohoku.ac.jp/juken/graduate-admission.html</p> <p>③ <u>上記の口座は海外送金に対応しておりません。</u>海外から検定料を支払う場合はクレジットカード等に対応できませんので、事前に大学院教務係(9頁参照)までご連絡ください。</p>
4	成績証明書	<p>○PDFファイルにして、インターネット出願システムにアップロードしてください。</p> <p>○学部及び大学院の両方について提出してください。</p> <p>○学士・修士の学位又は専門職学位を有しない方は、最終出身学校の成績証明書を提出してください。</p> <p>※入学手続の際は、原本の提出が必要です。</p>
5	学位授与(見込)証明書	<p>○PDFファイルにして、インターネット出願システムにアップロードしてください。</p> <p>○修士の学位又は専門職学位の授与(見込)証明書を提出してください。</p> <p>○修士以外の最終学歴を有している場合は、最終学歴の学位授与(見込)証明書も提出してください。</p> <p>※入学手続の際は、原本の提出が必要です。</p>

6	研究論文等	<p>○PDFファイルにして、インターネット出願システムにアップロードしてください。（容量の関係でシステムにアップロードできない場合は、事前に大学院教務係（9頁参照）に申し出てください）</p> <p>○研究論文等リスト</p> <p>○修士論文又は代表的な研究論文等（PDFにすることができない場合などは、事前に大学院教務係（9頁参照）に申し出てください）</p> <p>現在、博士課程前期2年の課程に在籍している方で、在籍大学大学院の提出期限との関係で、出願時に修士論文を提出できない場合は、提出可能日を文書（様式は問いません）で、提出してください。</p>
7	研究計画書 【地球物理学専攻 志願者のみ】	<p>○PDFファイルにして、インターネット出願システムにアップロードしてください。</p> <p>○入学後の研究計画を、A4判2枚程度（様式任意）にまとめてください。日本語でも英語でも構いません。日本語の場合、2,000字程度を目安としてください。</p>
8	旅券の写し又は 在留カードの写し	<p>PDFファイルにして、インターネット出願システムにアップロードしてください。</p> <p>外国人で入学を志願する方は提出してください。</p>

※ 指導教員等の推薦書は、任意提出資料とします。

☆社会人特別選考で出願する方は、上記の書類の他に下記の書類を提出してください。
いずれもPDFファイルにして、インターネット出願システムにアップロードしてください。

9	受験許可書	勤務先の所属長が作成したものを提出してください。（様式任意）
10	研究期間証明書	出願資格に定める研究期間を記載した、勤務先の所属長の証明書を提出してください。（様式任意）
11	研究計画書	入学後の研究計画を、A4判2枚、2,000字程度にまとめてください。 地球物理学専攻の社会人特別選考へ出願する場合は、上記7の記載により提出してください。
12	承諾書	<u>在職のまま入学しようとする方だけ提出してください。</u> また、入学後、大学院の研究に専念させる旨、勤務先の所属長が記入したものとします。（様式任意）

6 選考方法等

入学者の選考は、出願書類の審査及び学力検査の結果を総合して行います。

なお、試験時間中は、監督者及び係員の指示に従ってください。

(1) 学力検査の日程・試験内容

専攻名	期日	試験内容等
数 学	8月中実施予定	<p>(1) 試験実施日時は、志願者へ個別に連絡します。</p> <p>(2) 試験は、修士論文の口頭発表及びこれを中心とした専門分野についての面接試験（1人40～60分程度）を行います。</p>
物 理 学	7月下旬実施予定	<p>(1) 試験実施日時は、志願者へ個別に連絡します。</p> <p>(2) 試験は、修士論文の口頭発表及びこれを中心とした面接試験（1人30～40分程度）を行います。</p>
天 文 学	8月中実施予定	<p>(1) 試験実施日時は、志願者へ個別に連絡します。</p> <p>(2) 試験は、修士論文の口頭発表及びこれを中心とした面接試験（1人60分程度）を行います。</p>

地球物理学	8月中実施予定	(1) 試験実施日時は、志願者へ個別に連絡します。 (2) 試験は、修士論文等と研究計画概要の口頭発表及びこれを中心とした面接試験（1人60分程度）を行います。
化学	8月8日（金）	(1) 試験実施時間は、志願者へ個別に連絡します。 (2) 試験は、修士論文概要の口頭発表（1人15分）及びこれを中心とした面接試験（1人10分）を行います。
地学	8月中実施予定	(1) 試験実施日時（5頁の5の⑤に記載の分野別）は、志願者へ個別に連絡します。 (2) 試験は、修士論文の口頭発表及びこれを中心とした面接試験（1人40～60分程度）を行います。また、分野により英語による専門科目筆記試験を行うことがあります。行う場合は、後日志願者へ個別に連絡します。

(2) 試験場

東北大学大学院理学研究科（仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号）
なお、試験室等の詳細は、出願受付後別途通知します。

(3) 試験成績の開示について

入学試験成績の開示を求める場合は、2026年3月19日（木）までに、開示申請書（様式任意：氏名、電話番号、現住所、メールアドレスを明記してください。）に受験票の写しを添付して、直接又は郵送で大学院教務係（9頁参照）に申請してください。

原則として、合格者、不合格者それぞれについて全体を3段階に区分し、請求者の成績がどの段階に属するかを開示します（開示の内容は、専攻、コースによって異なることがあります。）。

7 合格者の発表

2025年9月5日（金）午前9時（予定）に理学部・理学研究科ウェブサイトにて発表します。合格者には、2025年9月5日（金）以降、合格通知書をインターネット出願システム上で通知します。

なお、電話等による入学試験結果についての問い合わせには一切応じません。

8 入学手続

入学手続は、宣誓書等の書類の提出及び入学料等の経費を納入することとなります。詳細は、合格発表後に別途通知します。

なお、入学手続の詳細は、インターネット出願システムに登録したメールアドレス宛て又はインターネット出願システムのメッセージ機能によりお知らせします。

(1) 手続期間等

入学手続の期間は9月中旬を予定しています。

(2) 入学料及び授業料

① 入学料 282,000円（予定額）（2025年9月本学大学院博士課程前期2年の課程、修士課程又は専門職学位課程修了者は不要です。）

② 授業料 年額 535,800円（予定額）（前期と後期の2期に分けて納入してください。半期分は、267,900円です。）

（注）上記の納付金額は予定額であり、納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

9 その他

個人情報の取扱い

- ① 本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
- ② 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続、入学前教育、追跡調査等、入学後の学生支援関係（奨学・授業料免除及び健康管理等）、修学指導等の教育目的及び授業料徴収等の関係、並びに調査・研究（入試の改善や志望動向の調査・分析等。入学者については、入学後の個人情報と併せて分析することを含みます。）に利用します。
- ③ 入試・教務関係の業務については、本学から業務委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）が行うことがあります。業務委託に当たって個人情報の全部又は一部を受託業者に提供する場合には、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき適切な取扱いがなされるよう、必要な措置を講じます。

教育・学習データ利活用について

本学では、教育・学習活動において情報システム等に蓄積された個人情報を含むデータ（以下、「教育・学習データ」という。）を最新のデータ解析やAI技術を用いて分析し、エビデンスに基づいた教育を実施していくことが重要と考えています。

そのため、「教育・学習データ利活用宣言」、「東北大学教育・学習データ取扱8原則」、「教育・学習データ利活用ポリシー」を定め、教育・学習データを有効かつ適正に利活用し、本学における教育・学習支援の充実・改善を図るとともに国民と人類の福利に貢献していきます。

入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学後、教育・学習データに統合して取り扱います。

URL : <https://www.tohoku.ac.jp/japanese/studentinfo/education/08/education0801/>

【問い合わせ先】

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号

東北大学理学部・理学研究科教務課大学院教務係

メールアドレス : sci-in@grp.tohoku.ac.jp

電話番号 : 022-795-6351

2025年5月

東北大学大学院理学研究科

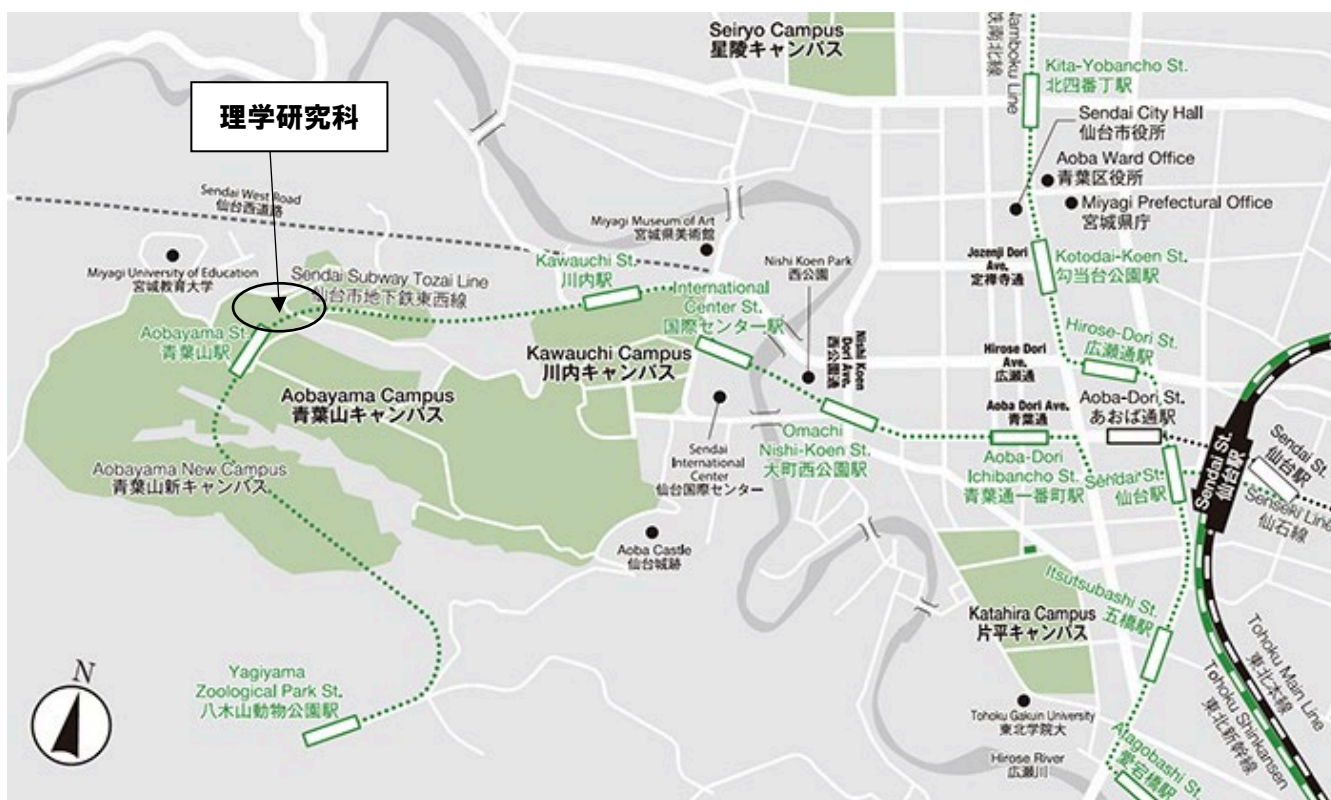
東北大学大学院理学研究科の所在地・案内図

所在地 〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号
(JR 仙台駅から西へ約4 km)

- 交通 ●仙台市地下鉄東西線利用の場合 (所要時間約9分, 運賃250円)
仙台駅から八木山動物公園方面に乗車し, 青葉山駅で下車後
北1出口から徒歩5分
- タクシー利用の場合 (所要時間約15分, 運賃約2,000円)
仙台駅西口タクシープールで乗車

『試験場案内図』

(仙台駅から西へ約4 km)



東北大学インタラクティブマップ

(日) <https://www.tohoku.ac.jp/map/ja/>

(EN) <https://www.tohoku.ac.jp/map/en/>



(日本語)



(ENGLISH)